❶ 敷地内を流れる青川。川遊びは、夏の暑さを忘れさせてくれます ❷ 木のぬくもりを感じられるログハウス ❸ 充実のレンタル品。体験セットを活用すれば、火おこしや燻製づくりなど、初めてのことにも気軽に挑戦できます ❹ 初めての火おこしセット。黒のファイヤースターターを使って、火打石の要領で麻紐に火をつけます ❺ 炭火焼ハウスでは、日帰りのバーベキューも可能。気軽に訪れたい人におすすめです ❻ テントの張り方をレクチャー。スタッフはアドバイスと手伝いに留め、利用者自ら設営してもらうようにしています ❼ ガーランドの工作体験。子どもたちは木材の色塗りに熱中しました ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ログハウス等の換気・アルコール消毒を徹底しています。レンタル品も一部休止中。詳しくはウェブサイトで確認してください

巻頭特集

設備&サポートが充実の青川峡キャンピングパーク

Let's Go Summer Camps!

オシャレで写真映えする道具の登場や、テレビ・雑誌での特集により人気が高まっているキャンプ。興味を持っている人も多いのではないでしょうか。いなべ市にある青川峡キャンピングパークは、設備やサービスが充実。キャンプデビューの場に最適です。

受付のあるセンターハウスでは、知識豊富なスタッフが利用者を出迎えます。助けが必要な時はセンターハウスを訪ねると、笑顔で対応してくれます

初めてでも困らない快適で楽しい経験を

敷地内に青川が流れ、鈴鹿山脈を臨む青川峡キャンピングパーク。太陽の光を浴びて輝く川や風に揺れる木々を見ていると、肌に滲む汗も爽快に思えてきます。

前身は、青川上流のオートキャンプ場です。オートキャンプ場は惜しまれつつも閉鎖。「環境を大切にしながら、地域を盛り上げる新たな施設をつくりたい」という思いから、員弁郡北勢町（現・いなべ市）の施設として、平成15年に青川峡キャンピングパークが開設されました。スーパーマーケットやコンビニエンスストアはもちろん、いなべ市内観光スポットとのアクセスの良さが強みです。

「同年代にできたキャンプ場と比べると、テントサイトが広いと思います」と、青川峡キャンピングパークの金津琢哉さん。開放的なオープンサイトは130㎡、仕切りのあるプライベートサイトは120㎡で、家族連れでも窮屈さを感じずに楽しめます。

アウトドアに慣れていない人も快適に過ごせるように、水道・風呂・トイレといった水回りを整備。広いデッキでくつろげるログハウスや、「食」「遊」「癒」の各テーマに合わせて備品を準備したキャビングサイト、天候に左右されずにバーベキューができる炭火焼ハウスなど、設備も充実しています。タープやランタン、ダッチオーブンなどのレンタル品、バーベキューやホットサンドに必要なものをそろえた食材セットも豊富です。

キャンプ好きなスタッフが利用者をサポート

「青川峡キャンピングパークの『パーク』は、施設内の公園を指すだけでなく、『誰もが楽しめる場所にしたい』という思いを込めています」と金津さん。設備だけでなく、スタッフによるサポートも充実しています。

予約時には、必要な準備やレンタル品の相談にのります。センターハウスにはスタッフが常駐。定期的に敷地内を回り、困っていそうな人には声をかけます。トラブルなどの緊急時にも頼れるので、安心して過ごせます。

よりキャンプを楽しんでもらうため、家族連れが多い連休中に体験イベントを実施。毎年趣向を凝らした内容が企画されています。昨年開催の炭火で焼き上げる五平餅づくりや、三角の木材を繋げるガーランド工作も人気を集めました。初心者向けのキャンプ講座では、テント・タープの設営やキャンプのマナー・道具の選び方紹介、火おこし体験を行い、キャンプに対する疑問を解消します。

「自然の中で過ごす良さを知ってほしいです。利用者のフォローやイベント・講座の企画で挑戦のハードルを下げて、キャンプの裾野を広げていきたいです」と金津さんは楽しそうに語ります。興味を持ちながら、「準備が大変」「どうすればいいかわからない」と二の足を踏んでいる人は、青川峡キャンピングパークに挑戦してみてはいかがでしょうか。非日常の空間で、胸躍る体験ができるかもしれません。

青川峡キャンピングパーク キャンプライフクリエイター

金津 琢哉さん

5年前から青川峡キャンピングパークに勤めています。「仕事は充実していますが、お客さん達を見ていると、自分もキャンプをしたくなってしまいます」と笑顔を見せます

初心者キャンプのススメ！

楽しむためのポイント

❶ 予定を詰め込まない！
「あれもこれもやりたい！」と分刻みのスケジュールを立てると、すべてが中途半端になってしまいがちです。料理や川遊びを楽しむならコテージを活用する、テントにこだわるなら食事は簡単なものにするなど、テーマを決めて準備しましょう。

❷ 失敗を恐れない
初めから完璧をめざすと、挫折しやすくなってしまいます。トライ&エラーを繰り返し、より良い方法を探るのもキャンプの醍醐味です。

❸ 子どもと一緒に挑戦
家族でキャンプをする場合は、「危ないから」と遠ざけず、子どもにも設営や火おこしを手伝ってもらうのがオススメ。ケガをしない範囲で、さまざまなことに挑戦するとより楽しめます。

❹ プロに聞く
困ったことがあれば、迷わずプロであるスタッフに声をかけましょう。

覚えておくべき注意点

❶ 夜の話し声・音楽
気分が盛り上がって、話し声や音楽が大きくなってしまう場合があります。開放的なキャンプ場では、自分の声がどこまで響いているか気付きにくいもの。夜はゆっくりと眠るキャンパーも多いので、音量を意識するようにしましょう。

❷ 熱中症・ムシ対策
夢中で遊ぶあまり、水分補給を忘れてしまわないようにしましょう。キャンプ場にはハチやブヨ、蚊などのムシがいます。ムシよけスプレーをしたり、肌の露出をさけたりと、対策をしておきましょう。

❸ ゴミ処理をしっかり
キャンプのゴミは、必ず処理しましょう。自然を汚さず、次の人も気持ちよく使えるように片付けて帰るのが鉄則です。

information

青川峡キャンピングパーク

TEL 0594-72-8300
住所 いなべ市北勢町新町614

文／田中波香　写真／D-studio、青川峡キャンピングパーク提供　デザイン／chica